

(様式3)

5 今年度の重点課題(学校アクションプラン)

令和6年度 富山高等学校アクションプラン -1-

重点項目	学習活動	
重点課題	「自学・自楽する18歳へ」と、学びと成長のウェルビーイングの達成	
現 状	<p>本校では、「発展的将来に貢献する人間の育成」を目指し、進路実現と、卒業後のさらなる飛躍の土台となる資質能力の育成につながる教育を展開している。その中でも、学習活動の両輪となるのは授業と授業外の「自主的な学習」である。「授業」に関しては、10年以上にわたり「学び合い」「ICT活用」など、手法や授業展開の工夫に重点を置いて取り組み、成果をあげてきた。今後はさらに、生徒自身がその授業に「受け手」ではなく「学びの創造者」としての意識をもって臨むことができるか、それをいかに促すことができるかを重点課題とし、生徒の一層の能力伸長につなげたい。</p> <p>「自主的な学習」に関しては、授業の効果を高め内容が定着するような取り組みが十分になされていることの指標の1つとして、週28～34時間程度の時数が学年ごとに設定されている。学習量が少ない生徒に対しては、担任や授業担当者面談による声かけなどを行ってきたが、その効果が声かけによる一過性のものに終わらず、自発性の高まりによって継続するような指導をさらに工夫する必要がある。</p>	
達成目標	<p>1 「授業」について:主体性を育む授業の実施と、授業を活かす生徒の意識の確立</p> <p>①生徒による授業参加の自己評価</p> <p>「学び合い」や「教え合い」、「振り返り」などの活動を自らの学びの場として活かすことができた生徒の割合が100%となること。</p> <p>②授業に関わる事前/事後課題への取り組み</p> <p>その授業を効果的に受講するために課された課題への取り組みが100%となること。</p> <p>1、2ともに、9月、1月に実施する学習生活実態調査時に生徒アンケートを実施する。各項目が、3年後に100%となることを目指す。</p>	<p>2 「自主的な学習」について:学びと成長のウェルビーイングの達成</p> <p>①自分自身の成長の実感</p> <p>日ごろの自主的な学習活動の結果、自分の思考力・判断力・表現力が向上したと実感した生徒の割合が100%となること。</p> <p>②持続可能性</p> <p>日ごろの自らの学習活動が、高校の3年間にわたって持続可能なものとなっていると感じている生徒の割合が100%となること。</p> <p>③多様性</p> <p>日ごろの学習活動が、自分自身やその目標に適合したものであると感じている生徒の割合が100%となること。</p>
方 策	<p>1 進路指導部との連携…進路学習係と担任・教科担当者との連携において、生徒が家庭学習に主体的に取り組める適正な課題の質および量を設定し、細かく調整するようにする。また、その際には授業と学習課題の有機的な結びつきを高めるとともに、実態としての個別最適化が実現されるように工夫する。</p> <p>2 面接指導の充実…担任を中心とした個別面談を年間7回程度以上実施し、特に、学習に困難を感じている生徒や工夫が必要な生徒に対しては、ウェルビーイングの観点①～③の実態の把握と共有をはかりながら、対話的に指導を行う。</p> <p>3 対話的な授業…教師の「授業構想」を基本としながらも、随時臨機応変の生徒間、生徒教師間の対話的な学びを促進する。</p> <p>4 働き方改革の推進…教務規定や成績評価の業務の見直しを通して、教員自身が「自学・自楽」し、ウェルビーイングを体現する生き方、学び方の価値観を再構築する時間を創出する。</p>	

(評価基準 A:達成した B:ほぼ達成した C:現状維持 D:現状より悪くなった)

令和6年度 富山高等学校アクションプラン-2-

重点項目	学校生活	
重点課題	基本的な生活習慣の改善	健康的な環境づくりに努める知識や能力の向上
現 状	<p>本校では、昨年度生徒手帳を改訂し服装および頭髪については「清潔端正」のみ示している。従来の頭髪指導はなくなり、自由な服装・頭髪が現れてきている。</p> <p>『生活あつての学習』を掲げ、規則正しい生活習慣の確立をめざしている。しかし、スマートフォン等を長時間使用し、学習に支障をきたす生徒も見受けられる。</p> <p>自転車通学生が多く、推奨されているヘルメットの着用は少しずつ定着している。イヤホン装着運転をしている生徒も散見され、改善していく必要がある。</p>	
達成目標	<p>1 服装・頭髪については、共生のために定められているルールに基づいて主体的に判断させるため、生徒会と教職員の対話の機会を前期・後期で1回ずつ設ける。</p> <p>2 スマートフォンの、学習活動・生徒間連絡利用以外の使用時間短縮等、自己の行動、生活をマネジメントする。個人情報SNSへの安易な書き込みの防止。ネットパトロール等外部から指摘を受けるような他人の個人情報掲載、著作権違反、他への中傷記載などなくす。</p> <p>3 交通ルール・交通マナーが遵守されるよう、特に自転車の安全運転について重点的に指導し、事故の防止を徹底する。</p>	<p>・各掃除場所の掃除の手順書を作成し、それを基に掃除担当メンバーで効率よく綺麗にできる掃除方法の共通理解を持つ。</p> <p>・掃除ロッカーの整備をする。</p>
方 策	<p>1 年2回の生徒会と教員の対話や担任面接を通して、服装・頭髪について生徒が主体的に判断できるように促す。</p> <p>2 スマートフォンは学習活動・生徒間連絡に不可欠なものとなりつつあるが、生徒に対して講演会を実施するほか、教員・保護者が連携して生徒の現状把握に努める。</p> <p>3 年間8回の校門指導・電停での見守りを通して、交通安全をさまざまな機会を通じて啓蒙する。</p>	

(評価基準 A:達成した B:ほぼ達成した C:現状維持 D:現状より悪くなった)